



平成25年7月25日

第3回「隣人を知ろう」短期海外研修三カ国相互交流プログラム実施について

<概要>

学生の隣国に対する視野と関心を広げ、長期留学への動機付けを展望した企画です。岡山大学と中国・中央財経大学（北京）、韓国・江原大学校経営大学（春川）の3大学が共同で取り組んでいます。

約10名の学生を1週間、相互に派遣します。学生は、滞在中に日本経済（中国経済、韓国経済）、日本文化（中国文化、韓国文化）、日本人（中国人、韓国人）の市民生活に関する講義と見学に参加し、学生同士も直接交流します。

岡山での研修では中国、韓国からの学生を同時に受け入れ、3カ国共通の使用言語を英語とします。交流を通じて学生が英語の有用性をいっそう強く認識し、グローバル人材として育つことをはかります。

H23(2011)年度より、岡山大学経済学部と中国・北京の中央財経大学経済学院（経済学部）及び韓国・春川の江原大学校経営大学（経営学部）が実施しています。このプログラムは、日中韓の学生に短期海外研修の機会を提供することによって隣国についての相互理解をもたらし、互いの経済・社会・文化をより深く学ぼうというインセンティブを与えることを目的としています。国際的視野や将来の短・長期留学への意欲（したがって語学学習意欲）を涵養するとともに、中・韓学生の日本理解と本学大学院への留学意欲を育てます。

研修プログラム（8日間）は日中韓3学部間で連携しつつ受入学部が作成し、派遣学部の承認の後に受け入れ学部が責任を持って実施します。このプログラムを終えた学生から中国、韓国への長期の留学を希望する学生が出ています。また参加した学生が帰国後の報告会等で他の学生と研修プログラムの内容を共有することで、より多くの学生の間に海外研修への意欲を高める効果や、受入学部と派遣先学部との間で教育分野、研究分野での協力関係を発展させることが期待されます。

<お問い合わせ先>

岡山大学経済学部

SSSVP担当委員会

（電話番号）086-251-7351（田原室）

（FAX番号）086-251-7571（支援室FAX）